

目次

第1章 アルコールの健康影響 —人間を対象とした研究を中心に—

1 アルコールと総死亡及びQuality of Life (論文番号1～17)

(1) 飲酒と総死亡 (論文番号1～9)

1. 中年および高齢の日本人男性と女性におけるアルコール摂取量と死亡率…………… 4
2. 男性のタバコと飲酒に関連した死亡率、ペトロレウム工場勤労者集団によるオーストラリアの
コホート研究からの考察…………… 5
3. 年間10万人の欧州人が飲酒により天寿をまっとうせず早死にしている…………… 6
4. 酒はどの程度飲めばよいのか? : 男性の飲酒量・飲酒頻度に関する最近のエビデンスについての警告的解釈…………… 7
5. 飲酒、併存疾患と死亡率…………… 8
6. 食餌の相乗作用と死亡率—32,462人の香港在住高齢者を対象とした症例—対象研究…………… 9
7. 飲酒と男女の総死亡率 34の前向き研究の最新メタアナリシス…………… 10
8. 平均アルコール摂取量、アルコール飲料の種類、飲酒回数と総死亡リスク…………… 11
9. アルコールによる慢性疾患による死亡と入院の評価: 2002年カナダのデータから…………… 12

(2) 死亡の危険因子 —飲酒の影響を考慮して (論文番号10～11)

10. 女性におけるBMIと死亡率の関連について: National Breast Screening Study (NBSS) コホート…………… 13
11. 中年者の幼少時知能指数と早期死亡危険因子群との関連: 1950年代Aberdeenの子供に関する研究…………… 14

(3) 飲酒とQOL・有害事象 (論文番号12～17)

12. 日本の男性労働者におけるアルコール摂取と健康関連クオリティ・オブ・ライフについての断面研究…………… 15
13. 飲酒と健康な加齢、高齢女性の飲酒と健康に関連した生活の質との関係…………… 16
14. 2002年のヨーロッパでのアルコール消費量と飲酒のパターン、アルコールの病気に対する負荷…………… 17
15. 飲酒パターンの変化は自覚的健康状態に影響を与えない: ARIC研究…………… 18
16. アルコールと予防パラドクス: 飲酒パターンと有害事象…………… 19
17. 高齢者にとってどの程度の飲酒が危険にあたるのか? 米国・英国での全国的コホートによる生活機能及び死亡と
飲酒との関連についての検討…………… 20

2 アルコールと悪性新生物 (論文番号18～65)

(1) 飲酒と全がん (論文番号18～22)

18. アルコールと関連した癌の疫学…………… 21
19. アルコールと関連を認める癌の罹患率 米国における最近の傾向…………… 22
20. 日本人男性における飲酒とがんの危険性: 宮城コホート研究…………… 23
21. 日本人一般集団におけるがんリスク因子に関する認識 地域集団を対象とした調査…………… 24
22. アルコールによる発がんとはん死亡の推計…………… 25

(2) 飲酒と頭頸部・口腔・気道・肺がん (論文番号23～31)

23. アルコール消費と肺がんリスク: コホート研究の統合分析…………… 26
24. 甲状腺癌の危険因子について: 前向きコホート研究…………… 27
25. インド・ケララにおける口腔がん死亡に対するスクリーニングの効果: クラスタランダム化比較試験…………… 28
26. 喉頭がん・下咽頭がんの既往がある男性における2度目の原発性腫瘍発症の危険因子ヨーロッパ多施設研究…………… 29
27. 飲酒・喫煙が頭頸部癌の診断遅延に及ぼす影響…………… 30

| | |
|------------------------------------------------------------------------|----|
| 28. 抗酸化物質摂取の効果と、喫煙・飲酒に伴う口腔・咽頭・喉頭の扁平上皮癌のリスク | 31 |
| 29. 大きな結節性甲状腺腫に関連する要因の疫学的検討 | 32 |
| 30. 男性におけるアルコール消費とoral premalignant lesionsの前向き研究 | 33 |
| 31. 中央ヨーロッパで上声門癌及び声門癌に扁平上皮癌が多いことと、喫煙・飲酒との関連について | 34 |
| (3) 飲酒と食道がん・胃がん (論文番号32～35) | |
| 32. 喫煙、アルコール飲用と食道がん：JACC研究の結果より | 35 |
| 33. 喫煙、飲酒と食道癌：JACC研究からの発見 | 36 |
| 34. アルコール摂取と胃がんのリスク：女性地域住民の前向き追跡研究 | 37 |
| 35. 喫煙、飲酒と胃癌リスクとの関連：地域住民対象前向きコホート研究 | 38 |
| (4) 飲酒と結腸・直腸がん (論文番号36～47) | |
| 36. スクリーニングにおける飲酒習慣のある人の大腸・直腸腫瘍の有病率とリスク | 39 |
| 37. アルコール飲用量と大腸・直腸がんのリスク：JACC研究の結果より | 40 |
| 38. メチレンテトラヒドロ葉酸還元酵素とアセトアルデヒド脱水素酵素の遺伝子多型と飲酒、 大腸腺腫の関連：自衛隊健康スタディ | 41 |
| 39. アルコール消費と結腸直腸癌の危険：JACC研究からの発見 | 42 |
| 40. ビタミンB6、アルコール摂取と大腸がん：女性地域集団を対象にした経時的コホート研究 | 43 |
| 41. アルコールとK-ras 遺伝子変異のある結腸直腸がんのリスク | 44 |
| 42. 直腸結腸癌の危険因子としての飲酒：疫学的な証拠を系統的に再検討することによる日本人の評価 | 45 |
| 43. 男性の結腸直腸癌のリスクスコアの開発 | 46 |
| 44. アルコール摂取から大腸がんへと至る分子学的経路 | 47 |
| 45. タバコ喫煙およびアルコールと大腸癌との関連：中国系シンガポール人健康研究 | 48 |
| 46. 葉酸、葉酸代謝に関わる共因子、及びMTHFR遺伝子多型と直腸癌の関連について | 49 |
| 47. 飲酒は日本人男性において遠位結腸ガン・直腸ガンのリスク増加と関連している：Miyagi Cohort Study | 50 |
| (5) 飲酒と腎がん (論文番号48～49) | |
| 48. 主な食事のパターンと腎細胞癌の危険：スウェーデンの女性のコホート研究 | 51 |
| 49. 二大コホート研究における、水分摂取量及び飲料と、原発性腎臓癌リスクとの関連 | 52 |
| (6) 飲酒と乳がん (論文番号50～56) | |
| 50. アルコール脱水素酵素の遺伝的多型、軽度～中程度の飲酒と乳ガンリスク | 53 |
| 51. 50歳未満のBRCA1及びBRCA2変異のキャリアにおいてはアルコール消費と乳がん発症の 危険度に有意差は認めなかった | 54 |
| 52. 中等度のコーヒーとアルコール摂取は補助療法を受けている乳癌患者のエストロゲン代謝を 改善する：術前、術後のレベルの比較試験研究 | 55 |
| 53. アルコールと乳癌の関係についてのメタアナリシス—方法論を考慮して | 56 |
| 54. 閉経前、閉経後の女性におけるアルコール摂取と性ステロイド血中濃度との関係：癌と栄養 に関するヨーロッパ前向き調査 | 57 |
| 55. 女性におけるアルコール摂取と乳癌の危険性の検討 | 58 |
| 56. 生涯摂取飲酒量と乳癌リスクとの関連 | 59 |
| (7) 飲酒と前立腺がん (論文番号57) | |
| 57. アルコール消費と前立腺がんリスク：the Melbourne collaborative cohort studyからの結果 | 60 |
| (8) 飲酒と卵巣がん (論文番号58) | |
| 58. ワイン及びその他のアルコール摂取と卵巣癌の危険性の関連 | 61 |

(9) 飲酒と膵臓がん (論文番号59～60)

59. JACC研究をめぐる膵臓癌の疫学の概説 62
60. 南ヨーロッパにおける、様々な環境要因間での交互作用の一例：疫学的証拠の系統的レビュー 63

(10) 飲酒と血液がん (論文番号61～65)

61. 飲酒と非ホジキン悪性リンパ腫の関連：統合データの解析 64
62. タバコとアルコール消費とリンパ腫の危険性—ドイツにおけるケース・コントロール研究 65
63. 喫煙、飲酒とホジキンリンパ腫：ヨーロッパ多施設症例—対照研究 (EPILYMPH) 66
64. 喫煙・アルコールがEpstein-Barrウイルス陽性/陰性のホジキンリンパ腫のリスクを修飾するか？ 67
65. アルコール摂取とホジキンリンパ腫および多発性骨髄腫リスクとの関連：多施設症例—対照研究 68

3 アルコールと循環器疾患 (論文番号66～88)

(1) 飲酒と総循環器疾患 (論文番号66～70)

66. 中年の飲酒と循環器疾患のリスク及び死亡率：時間経過中の飲み方の変化に着目した検討 69
67. 鉄、亜鉛、アルコール飲酒、と循環器疾患死亡：(the Iowa Women's Health Study) 70
68. 炎症がアルコール消費量と死亡や心血管病発症の関与に及ぼす影響 71
69. 血清コレステロールと脳出血、脳梗塞、心筋梗塞：Korean National health system prospective cohort study 72
70. 心筋梗塞回復後の男性患者における飲酒量の循環器疾患発症への影響 73

(2) 飲酒と冠動脈疾患 (論文番号71～78)

71. 禁酒後の急性心筋梗塞罹患のリスク 74
72. アルコールはカナダ人の心臓に良いか悪いか？飲酒と虚血性心疾患死亡の解析 75
73. 男性退役軍人における冠動脈疾患と左室機能不全に対する飲酒の影響 76
74. 飲酒パターンと冠動脈疾患発症の前向き研究 77
75. 2型糖尿病におけるアルコール摂取と冠疾患発症率・死亡率に関するメタ解析 78
76. 男性高血圧患者におけるアルコール摂取と冠疾患の関連 79
77. 中等度の飲酒の虚血性心疾患予防効果はメタボリックシンドロームを有する男性でより顕著に見られる 80
78. 健康な生活習慣を有する男性におけるアルコール摂取量と冠動脈疾患との関連 81

(3) 飲酒と心不全 (論文番号79～81)

79. 飲酒と冠疾患性および非冠疾患性心不全発症による入院のリスク 82
80. アルコール消費量と心不全の発症の関係について：the Cardiovascular Health Study 83
81. 医師健康調査Iにおけるアルコール摂取と心不全の危険度との関連 84

(4) 飲酒と動脈硬化 (論文番号82～88)

82. 赤ワインの動脈硬化抑制効果の可能性—臨床医のための最新情報 85
83. 生活習慣：それらは血管運動症状と関係があるのか、そして、それらはホルモン療法の効果や副作用を修飾するのか？ 86
84. 日本人中年男性におけるアルコール消費量と冠動脈の石灰化について 87
85. 飲酒量は冠動脈や大動脈の石灰化を伴った動脈硬化性プラークと関係するか？ 88
86. 心血管の動脈硬化とアルコール摂取 血管造影および死亡データ 89
87. 高齢者における飲酒と心房細動のリスク及び予後の関連：the Cardiovascular Health Study 90
88. 男性における、喫煙、高血圧、飲酒と腹部大動脈瘤の危険性について 91

4 飲酒と生活習慣病・循環器疾患危険因子 (論文番号89～118)

(1) 飲酒と生活習慣全般 (論文番号89～94)

89. 心血管危険因子プロファイルと摂取するアルコール飲料の種類：地域住民をベースとした研究 …… 92
90. 飲酒パターンと肥満との関係：1988-1994年の第三回国民健康・栄養調査からのデータ …… 93
91. アルコール摂取量と生活習慣との関係：多量飲酒が生活習慣病の有病率に与える影響について …… 94
92. アメリカにおける成人の健康行動 …… 95
93. マリファナの使用と、食事やBMI、心血管病危険因子について-CARDIA研究より- …… 96
94. アルコール消費、身体活動量および慢性疾患の危険因子：地域集団を対象とした断面研究 …… 97

(2) 飲酒とメタボリックシンドローム (論文番号95～96)

95. 3年間の生活習慣の変化がメタボリックシンドロームの各因子に与えた影響 …… 98
96. 女性での栄養の取り方とメタボリックシンドロームについて
：フラミンガムの栄養研究からの予防的介入について …… 99

(3) 飲酒と糖尿病 (論文番号97～104)

97. 女性の飲酒と糖尿病の発症、総死亡の関連：スウェーデン、ゲーテンブルグ女性集団の32年間の追跡 …… 100
98. 糖尿病患者の勃起障害に関連した臨床、社会経済およびライフスタイルの要因 …… 101
99. 血糖、脂質に対する体重変化の影響：地域集団における動脈硬化リスク研究 …… 102
100. アルコール消費量と2型糖尿病 疫学研究のメタ解析ではU字型の関連を示している …… 103
101. 独居の女性は糖尿病のリスクが高いがこれは主にその生活様式が原因と思われる …… 104
102. 2型糖尿病の東洋人患者のアルコールフラッシャーと非フラッシャーにおける
動脈硬化の危険性に関する飲酒の影響 …… 105
103. 日本人男性における飲酒と喫煙の耐糖能に及ぼす影響 …… 106
104. 米国成人における飲料物摂取と糖尿病および血糖コントロールの関係 …… 107

(4) 飲酒と血圧 (論文番号105～111)

105. 中国人男性におけるアルコール摂取と血圧区分の関係 …… 108
106. 降圧薬服用中高血圧症例の自己測定血圧の朝夕差の規程因子：J-MORE研究 …… 109
107. アルコールと性が24時間血圧に及ぼす影響：Double Exposure研究のBaseline調査からの結果 …… 110
108. 高血圧の予後は飲酒状況によって異なるか？ …… 111
109. HAN, SHE系中国人における、肥満度 (BMI) とアルコール摂取の交互作用と血圧との関連 …… 112
110. 中国人男女の8年間追跡結果による高血圧の罹患率と危険因子について …… 113
111. 正常および高血圧のフィンランド人の血圧に影響する生活習慣の1982から2002年にかけての変遷 …… 114

(5) 飲酒と炎症 (論文番号112～113)

112. アメリカ人男女による中等度飲酒と炎症性マーカー …… 115
113. CRPとアルコール消費量：U字型の関連はあるか。ロシア、アルカングルスク研究住民調査結果より。 …… 116

(6) 飲酒とその他のマーカー (論文番号114～118)

114. 日本人男性事務職員におけるアルコール飲料タイプの高尿酸血症への影響 …… 117
115. エタノール摂取と血漿中のホモシステイン濃度のJ字型の関連：ATTICAスタディ …… 118
116. フランス人における血清セレンウム濃度の決定要因：SU. VI. M. AX研究より …… 119
117. 40～49歳のアメリカ人男性と日本人男性の血漿プラスミノゲン
アクチベーターインヒビター1レベルの違いの決定要因について …… 120
118. 血清 γ -GTP活性に与える、中等度の飲酒と肥満の相加的効果 …… 121

5 飲酒と肝・胆・膵・腎・呼吸器疾患 (論文番号119～126)

(1) 飲酒と肝疾患 (論文番号119～121)

119. 日本人におけるアルコール脱水素酵素2*1対立遺伝子と肝障害、インシュリン濃度との関係…………… 122
120. 飲酒とC型肝炎ウイルス治療：全米多施設共同研究の結果から…………… 123
121. C型肝炎における肝臓線維化の危険因子 アメリカ退役軍人と非退役軍人を比較した前向き研究…………… 124

(2) 飲酒と膵疾患 (論文番号122～123)

122. 米国におけるすい臓疾患の統計、影響…………… 125
123. 日本人アルコール依存症患者におけるアルコール性膵炎発症…………… 126

(3) 飲酒と腎疾患 (論文番号124)

124. 喫煙、多量飲酒と慢性腎臓疾患の関連…………… 127

(4) 飲酒と呼吸器疾患 (論文番号125～126)

125. 市中肺炎の発症および重症度に対するアルコール乱用の影響…………… 128
126. 高齢者の呼吸器感染との関連から見たアルコール、喫煙、および身体活動…………… 129

6 飲酒のその他の身体影響 (論文番号127～140)

(1) 飲酒の身体影響 (論文番号127～132)

127. ホップ抽出液のメラノサイト刺激効果…………… 130
128. 「フレンチパラドックス」と核内受容体PPARとの新しい接点…………… 131
129. 「アルコールの功罪」アルコール感受性を考慮した適量飲酒の推進…………… 132
130. 飲料ならびに食品の摂取が飲酒後の体内エタノール濃度の推移に与える影響…………… 133
131. 心拍数変化からみた日本酒の酔い…………… 134
132. 摂食における飲酒の急性的影響：食前酒と同時摂取…………… 135

(2) 飲酒と身体能力 (論文番号133～134)

133. 高齢男性における飲酒と身体的能力と機能について…………… 136
134. 生涯を通じての社会経済的・心理社会的曝露と成人期の多量の機会飲酒に関する住民対象調査…………… 137

(3) 飲酒と社会要因 (論文番号135～136)

135. アメリカ人及びカナダ人成人における飲酒背景の多段階解析…………… 138
136. 社会因子が男女の飲酒習慣の差と飲酒合併症に及ぼす影響…………… 139

(4) 飲酒とその他の疾患 (論文番号137～140)

137. 飲酒量と自己報告の日焼けの関連、断面的、一般住民対象研究…………… 140
138. アルコール、カフェイン、喫煙の閉経年齢に及ぼす影響…………… 141
139. 中年男女における喫煙、飲酒とレイノー現象…………… 142
140. 日本人男性を対象とした歯周病・歯喪失の罹患率に対する喫煙・飲酒習慣の影響：4年間の経時研究…………… 143

7 飲酒影響の調査法 (論文番号141～147)

(1) 飲酒の量・質の質問票 (論文番号141～147)

141. 飲酒者に対するスクリーニング用の単一質問の、プライマリケア現場での有用性について…………… 144
142. 自己報告による飲酒に関する調査の安定性と信頼性…………… 145
143. 男性における飲酒に関するスクリーニングのスコアと腹部疾患による入院リスク…………… 146
144. 救急部の患者の7日間の飲酒量の思い出しバイアス：ケース・クロスオーバー研究への影響…………… 147
145. 検査結果と比較した傷害前の飲酒に関する自己申告の妥当性について
：16カ国の救急部データを使った横断研究…………… 148

| | |
|--------------------------------------------------|-----|
| 146. 職場での相互的なwebサイトによるアルコール消費量の減少に関するパイロット研究 | 149 |
| 147. 歯科患者における飲酒に関する問診 問題飲酒の有病率と問診とアドバイスに対する患者の態度 | 150 |

8 飲酒の経済影響 (論文番号148 ~ 150)

(1) 飲酒の経済に与える影響 (論文番号148 ~ 150)

| | |
|--------------------------------------------------------------------|-----|
| 148. 社会資本の多量飲酒・アルコール依存症・アルコールによる障害・アルコール関連の弊害に対する修正効果の検討：全国調査の結果 | 151 |
| 149. 1950年から2002年のアメリカで売られたスピリッツ、ワイン、ビールの平均アルコール体積濃度と一人当たりアルコール消費量 | 152 |
| 150. 国際貿易協定はタバコ・アルコール対策と対立する | 153 |

9 飲酒の周産期・母子に与える影響 (論文番号151 ~ 162)

(1) 周産期の飲酒の健康影響 (論文番号151 ~ 155)

| | |
|-------------------------------------------------------|-----|
| 151. アルコールの急性摂取は授乳中の女性のホルモン環境を混乱させる | 154 |
| 152. 胎児アルコール症候群に対する母親の危険因子：南アフリカ西ケープ州における地域集団を対象にした研究 | 155 |
| 153. 妊娠女性によるアルコール使用に対する短時間の介入 (措置) | 156 |
| 154. アルコール暴露妊娠を防ぐ ランダム化比較試験 | 157 |
| 155. NLSYコホートにおける妊娠直前飲酒者および危険飲酒者の妊娠中飲酒率の変化 | 158 |

(2) 母の飲酒が新生児・小児に与える影響 (論文番号156 ~ 162)

| | |
|-------------------------------------------------------------|-----|
| 156. 母親のアルコール乱用と新生児の感染 | 159 |
| 157. 胎児性アルコール症候群患者の高圧酸素療法治療前、治療中、治療後の神経認知機能の変化 | 160 |
| 158. 胎児期のアルコール暴露で青年期のアルコール関連疾患が予測できるか？ | 161 |
| 159. 妊娠中の多量飲酒は胎児のDSM-IV診断による青年期精神障害の予測因子である | 162 |
| 160. 中等度の出生前アルコール暴露と10歳時認知能力状態 | 163 |
| 161. 口唇口蓋裂と生活様式：デンマーク出生コホートに基づくケースコホート研究 | 164 |
| 162. 妊娠期における母親の飲酒と子供の精神発達異常に関する性差についての検討 ：一般住民を対象とした縦断研究 | 165 |

10 飲酒の青少年への影響 (論文番号163 ~ 179)

(1) 小児 (若年者) の飲酒 (論文番号163 ~ 167)

| | |
|---------------------------------------------------------|-----|
| 163. 6歳未満の小児における、うがい薬服用の急性アルコール中毒についての研究、1989-2003. | 166 |
| 164. 若い成人の高リスク標本におけるアルコール使用の兄弟への影響 | 167 |
| 165. アルコールに特化した規則、若年者の飲酒に対する親の考え、親の飲酒量が思春期の子の飲酒行動に与える影響 | 168 |
| 166. 子供の映画鑑賞に対する両親が決めた規則と監視と子供の喫煙・飲酒リスクとの関連 | 169 |
| 167. 子供における憂鬱的徴候とアルコールの早期使用 | 170 |

(2) 青年 (未成人) の飲酒 (論文番号168 ~ 175)

| | |
|------------------------------------------------------------|-----|
| 168. 未成年者の問題飲酒促進因子についての研究 - 未成年者の飲酒問題コホート調査5年後の分析 - | 171 |
| 169. (バーやパーティ、ディスコ等への) 外出中の、テレビや音楽ビデオ鑑賞と思春期の飲酒 | 172 |
| 170. 課外活動、運動への参加と青年期の飲酒。性、学校状況の影響 | 173 |
| 171. 1994年から2002年にかけての青少年の飲酒理由の変化、またその理由と飲酒との関連について、スイスの検討 | 174 |

| | |
|----------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| 172. 早期および晩期青年期における自覚的成熟度、青春期の状態と飲酒、喫煙状況 | 175 |
| 173. プラスのアルコールへの期待感を有すると非行と飲酒が結びつくことがある ：アイオワ州の85000人の生徒のコホートにおける年齢、性、人種を超えた一般化の可能性 | 176 |
| 174. 高校生における多量飲酒と関連する健康を害する行動について | 177 |
| 175. 単独の薬物使用により青年の社会心理学的転機および行動転機は悪くなる危険性があるのか？ 薬物の単独使用者と社交場でのみの使用者を比べた9年間の縦断研究 | 178 |
| (3) 大学生の飲酒 (論文番号176 ~ 179) | |
| 176. 重度飲酒者の国際比較、大学生の態度及び社会統計学的要因 | 179 |
| 177. ハイチにおける思春期男子と20歳代前半青年の飲酒開始危険因子 | 180 |
| 178. スウェーデンの大学寮の学生への2年間の飲酒介入研究 ：短期研修と12段階プログラム、対照との無作為化比較試験 | 181 |
| 179. アフリカ系アメリカ人と白人青年におけるアルコール使用の発達パターン | 182 |

11 飲酒の認知機能・精神に及ぼす影響 (論文番号180 ~)

(1) アルコール依存と認知 (論文番号180 ~ 182)

| | |
|-------------------------------------------------------------------------|-----|
| 180. 長期間禁酒をしているアルコール依存症における認知活動能力 | 183 |
| 181. 非アルコール依存日本人男性の全灰白質量および局所灰白質量はいずれも生涯飲酒量と逆相関する ：容量分析と3次元画像による形態計測 | 184 |
| 182. アルコール中毒歴のある高齢者における術後認知障害 | 185 |

(2) 飲酒と認知機能 (論文番号183 ~ 192)

| | |
|----------------------------------------------------------------------------------|-----|
| 183. 生活習慣因子と認知症のリスク：Dubbo老年研究 | 186 |
| 184. 1週間の飲酒量と脳萎縮・白質強調画像について—60-64歳地域住民を対象とした検討— | 187 |
| 185. 高齢女性における領域固有の認知機能と飲酒との関連 | 188 |
| 186. 海馬の容積は慢性大量飲酒で減少する | 189 |
| 187. アルコール消費量と痴呆発症危険性に関する2年間の追跡調査 | 190 |
| 188. 良好な認知機能を保つ高齢女性について | 191 |
| 189. アルコール摂取と認知機能；Cardiovascular Risk Factors Aging and Dementia (CAIDE) 研究からの知見 | 192 |
| 190. 高齢者のSub-Intensive Care Unitにおける譫妄：出現頻度とリスク因子 | 193 |
| 191. アルコール摂取と認知機能の低下：Northern Manhattan研究 | 194 |
| 192. 適量飲酒が高齢期認知機能に与える影響 | 195 |

(3) 飲酒と精神疾患 (論文番号193 ~ 199)

| | |
|------------------------------------------------------------------|-----|
| 193. 多量飲酒の機会と抑うつ状態 | 196 |
| 194. 新婚夫婦におけるアルコール飲用、アルコール問題と抑うつ症状 | 197 |
| 195. ニューヨークにおけるアルコール使用—9月11日の災害後の検討— 精神学的外傷の飲酒行動に与える影響についての検討 | 198 |
| 196. アルコール消費と抗うつ剤使用 | 199 |
| 197. 飲酒量とうつ病の関連は調査方法によるのか？ | 200 |
| 198. 精神科入院患者の子の死亡リスク 一般集団における成人早期までの追跡研究 | 201 |
| 199. アルコール消費量と抑うつ症状：20カ国の青年層を対象とした調査 | 202 |

(4) 飲酒とストレス・気分 (論文番号200 ~ 203)

| | |
|-----------------------------------------------------|-----|
| 200. 気分プロフィール検査 (POMS) による飲酒前後の気分の評価 | 203 |
| 201. デュッセルドルフ在住日本人海外勤務者およびその配偶者集団における生活習慣と精神的健康との関連 | 204 |

| | |
|-----------------------------|-----|
| 202. 飲酒開始年齢がストレスによる飲酒に与える影響 | 205 |
| 203. 仕事のストレスと健康にリスクのある行動 | 206 |

12 飲酒と依存症状 (論文番号204 ~ 224)

(1) アルコール依存と遺伝子 (論文番号204 ~ 206)

| | |
|-------------------------------------------------------------------------|-----|
| 204. 2つのm ^μ -オピオイド受容体遺伝子 (OPRM1) ハプロタイプブロックと薬剤またはアルコール依存性の相関 | 207 |
| 205. GABA-A 2受容体サブユニット遺伝子 (GABRA2) の多型とアルコール依存症のリスク | 208 |
| 206. 日本人集団におけるマイクロオピオイド受容体遺伝子のA118G変異とアルコール依存との関連 | 209 |

(2) アルコール依存者の状況 (論文番号207 ~ 215)

| | |
|--------------------------------------------------------------------|-----|
| 207. アルコール依存症の外来患者におけるアルコール渴望の状況: その発生率と臨床所見との相関 | 210 |
| 208. アルコール依存症の特性: 若年者から中年者への変遷 | 211 |
| 209. ロシアの結核患者における、アルコール・薬物使用障害、HIV感染状態、薬剤耐性 | 212 |
| 210. ADH遺伝子群とALDH2遺伝子のディプロタイプ傾向性の回帰分析による検討 : アルコール依存との多重的に有意な関連 | 213 |
| 211. カナダ人女性における摂食障害と薬物乱用 国民調査より | 214 |
| 212. 養護施設での青年期におけるアルコールとマリファナ使用のリスク因子 | 215 |
| 213. 中等症、軽症患者の入院によって生じるアルコール禁断症状による影響について | 216 |
| 214. 精神衛生とアルコール・薬物・タバコ: 精神疾患とアルコール・タバコ 違法ドラッグの並存に関する報告の総説 | 217 |
| 215. 台湾原住民におけるびんろうじを嚙む行動と止めるパターンの予測因子 | 218 |

(3) アルコール依存の治療・予後 (論文番号216 ~ 220)

| | |
|---------------------------------------------------------------|-----|
| 216. アルコール依存治療における、早期予兆による再発予防トレーニングのランダム化試験 | 219 |
| 217. アルコール依存症患者におけるオキサカルバマゼピンとアカンプロサートの効果比較の試験的研究 | 220 |
| 218. アルコール依存症患者の断酒に関するアカンプロサートの効果の二重盲検、プラセボ対照試験 : 患者の動機的作用 | 221 |
| 219. 集中治療室の成人患者においてアルコール依存症は敗血症、敗血症ショック、 院内死亡と独立して関連している | 222 |
| 220. 移植患者のアルコール依存とグラフト及びレシピエント (臓器被移植者) の生存について | 223 |

(4) アルコール依存・その負担と対策 (論文番号221 ~ 224)

| | |
|----------------------------------------------------------------|-----|
| 221. 薬物使用の健康及び司法上の影響力についての評価と検討 | 224 |
| 222. 飲酒、喫煙、非合法薬物による危害削減策の有効性及び効果のレビュー | 225 |
| 223. 世界全体のアルコール・タバコ・違法ドラッグによる損失を防ぐ方策の 費用対効果分析の地域間比較を可能にする方法 | 226 |
| 224. アルコール・違法ドラッグ・タバコによる全世界での社会的疾病負担 | 227 |

13 アルコールと事故・暴力・事件 (論文番号225 ~ 243)

(1) 飲酒と外傷 (論文番号225 ~ 232)

| | |
|------------------------------------------------------------|-----|
| 225. 青少年時の飲酒習慣はその後の頭部外傷を予測する。北フィンランドの1966年Birthコホート~35年間追跡 | 228 |
| 226. 急性飲酒と非致命的傷害についての多施設研究: アルコールと傷害に関するWHO共同研究のデータより | 229 |
| 227. 16ヶ国における急性アルコール飲酒と非致命的傷害の検討 | 230 |
| 228. 致死的外傷発生におけるアルコールの役割の男女間相違 | 231 |

| | |
|-----------------------------------------------------------------------------|-----|
| 229. アルコールあるいは飲酒が修飾要因として、外傷に与える影響についての種々の要因を考慮した分析 ：二つの国際共同研究からの救急治療室データ | 232 |
| 230. 高齢者における飲酒歴と致命的外傷 | 233 |
| 231. 外傷と救急外来受診の関係：アルコール、危険性の予見、衝動、刺激志向的行動の効果 | 234 |
| 232. 重度頭部外傷患者のアルコールと死亡との関連 | 235 |
| (2) 飲酒と暴力・犯罪 (論文番号233 ~ 235) | |
| 233. 英国全国世帯調査における、暴力と精神疾患罹患との関連／その公衆衛生学的重要性 | 236 |
| 234. 薬物乱用によって生じたとされる英国における3年間の性犯罪症例の血中および尿中のアルコール濃度 | 237 |
| 235. ロシアにおける多量飲酒の殺人・自殺死亡率に対する影響についての時系列分析(1956-2002年) | 238 |
| (3) 飲酒と事故 (論文番号236 ~ 238) | |
| 236. 喫煙者における事故による過剰死亡：無視されたたばこの害 | 239 |
| 237. 日本において血中アルコール濃度規制値を0.03mg/mLに低下させたことが10代の車両運転事故に及ぼす影響 | 240 |
| 238. 日本における交通事故死と飲酒運転との関連 | 241 |
| (4) 飲酒と筋骨格系傷害 (論文番号239 ~ 243) | |
| 239. エタノールは破壊性関節炎の進行を妨げる | 242 |
| 240. 男女の脊椎(椎体)骨折の発症と危険因子—住民を対象として25年追跡したフラミンガム研究より— | 243 |
| 241. 日本の看護師における筋骨格系障害の危険因子の詳細な分析 | 244 |
| 242. 高齢者におけるアルコール消費、骨密度、大腿骨骨折：“the cardiovascular health study” | 245 |
| 243. 老年男性におけるアルコール摂取と骨ミネラル密度、転倒、骨折のリスクとの関連 | 246 |

14 サプリメントとしてのアルコール、酒に含まれる成分 (論文番号244 ~ 253)

(1) 酒類の成分の身体効果 (論文番号244 ~ 250)

| | |
|----------------------------------------------------|-----|
| 244. お酒と上手につきあうためのサプリメントテーション | 247 |
| 245. がんばる日本ワイン ワインに含まれるさまざまな健康機能成分 | 248 |
| 246. アペリティブ効果とビール成分 | 249 |
| 247. イオンチャネル型GABA _A 受容体へのビールとホップの影響 | 250 |
| 248. 食物ポリフェノール化合物によるアロマターゼ活性の調節 | 251 |
| 249. ビール香気成分のストレス緩和作用 | 252 |
| 250. ウイスキーの熟成がエタノール除去の反応速度と不揮発性成分の増加による神経的影響を変化させる | 253 |

(2) サプリメントと飲酒の身体影響 (論文番号251 ~ 253)

| | |
|----------------------------------------|-----|
| 251. ビールの生物活性とヒトの代謝へのその影響 | 254 |
| 252. 通常の甘味料に対して人工甘味料は胃排出能とアルコール吸収を上昇する | 255 |
| 253. ビタミンB複合剤でのアルコール性多発神経炎の治療：無作為化比較試験 | 256 |

第2章 アルコールの健康影響 —実験研究を中心に—

(1) アルコールと神経 (論文番号254 ~ 264)

| | |
|----------------------------------------------------------------------------|-----|
| 254. 成体マウスにおいて適量のエタノール摂取が海馬での細胞増殖と神経新生を増加させる | 258 |
| 255. 過量のエタノールによって生じる神経毒性の反転におけるカンナビジオール、抗酸化剤、利尿薬の比較 | 259 |
| 256. ノルエピネフリン輸送担体：近交系long-sleepマウスとshort-sleepマウスの エタノール初期感受性を決定する候補遺伝子 | 260 |
| 257. NMDA受容体のNR2Aサブユニットを欠損したマウスのエタノール関連行動 | 261 |
| 258. エタノールで誘導される運動活性と感作へのプロテインキナーゼAの関与 | 262 |

| | |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| 259. エタノールはセロトニントランスポーター非依存的な機序で脳セロトニンのクリアランスを抑制する | 263 |
| 260. RAXとPKRの相互作用はタンパク質合成や神経の生存に関するエタノールの効果を制御している | 264 |
| 261. リチウムはエタノールによる神経系アポトーシスを防御する | 265 |
| 262. Eps 8欠損マウスでのエタノール耐性と消費はアクチンの動態と関連している | 266 |
| 263. BHTはNF κ Bの活性化とエタノールによる脳障害を抑制する | 267 |
| 264. セロトニン5-HT _{1A} と5-HT _{2A/C} 刺激薬に対する視床下部 -脳下垂体-副腎応答は胎生期にエタノールで曝露された雌と雄ラットで異なる | 268 |
| (2) アルコール、嗜好と行動 (論文番号265 ~ 279) | |
| 265. 時計遺伝子Per 2はグルタミン酸作動系に影響を与えてアルコール摂取量を調節する | 269 |
| 266. 高架式十字迷路でのアセトアルデヒドによる運動や抗不安への影響の分離 : マウスにおいてアセトアルデヒドはエタノールの抗不安効果とは関係がないことの証拠 | 270 |
| 267. エタノール摂取に関するメラノコルチン受容体活性化と遮断の効果: メラノコルチン4受容体の役割 | 271 |
| 268. hangover「二日酔い」遺伝子はエタノール耐性の発達に要求されるストレス経路を規定している | 272 |
| 269. トランスクリプトームのメタ解析によるアルコール摂取の遺伝学の解明にむけて | 273 |
| 270. 遺伝子工学的にGABA輸送体サブタイプI (GAT1) の発現を変化させた マウスはエタノールに対する変わった行動応答を示す | 274 |
| 271. Sprague-DawleyラットにおいてRosiglitazoneが急性的なエタノールの酔いを緩和する | 275 |
| 272. 候補遺伝子とその調節エレメント: アルコール嗜好性と耐性 | 276 |
| 273. Swiss、C57BL/6Jマウスにおけるエタノール、アセトアルデヒドの末梢、脳室内投与後の自発運動への影響 | 277 |
| 274. マウスでアデノシンA1受容体の活性化が急性的なエタノールの酔い(二日酔い)の不安様行動を減少させる | 278 |
| 275. 低用量のアルコールによる $\alpha_4\beta_3\delta$ GABA _A 受容体への作用はアルコール による行動変化に対する拮抗薬であるRo 15-4513で回復する | 279 |
| 276. マウスにおいて慢性水泳ストレスがエタノールの急性行動への影響の感受性を変化させる | 280 |
| 277. 扁桃体中心核と内側核の脳由来神経栄養因子はアルコール摂取と不安様行動で中心的役割を果たしている | 281 |
| 278. ラットCnr1遺伝子座の違いと環境ストレスによって惹起されるアルコール探索再燃への感受性 | 282 |
| 279. グリシン再取り込み阻害剤Org 25935は雄Wistarラットでのエタノール摂取と嗜好性を低下させる | 283 |
| (3) アルコールと肝機能 (論文番号280 ~ 288) | |
| 280. アルコールを処理したマウス肝臓と肝癌細胞における細胞質タンパク質の酸化と分解の増加 | 284 |
| 281. ラットにおいてセサミン摂取が肝臓のアルコールや脂質の代謝酵素の転写レベルを制御する | 285 |
| 282. シリマリンはマウスを急性エタノール誘発肝障害から保護する | 286 |
| 283. テアニンがアルコール代謝と肝臓毒性へ与える影響 | 287 |
| 284. エタノール投与した異なった月齢のラットにおける肝臓抗酸化能力の変化の緑茶による保護効果 | 288 |
| 285. <i>in vitro</i> でのプロテオソーム活性に関するアセトアルデヒドの効果とエタノール 蒸気の吸入によるラットのアルコール処置後の変化に関与する可能性 | 289 |
| 286. 肝細胞ヒストンH3のエタノールによるアセチル化におけるヒストンアセチル化酵素(HAT)の関与 | 290 |
| 287. アルコールに反応した肝臓の遺伝子発現パターン: <i>in vivo</i> と <i>in vitro</i> モデルでの比較 | 291 |
| 288. S-アデノシルメチオニンラット肝臓でのアルコールによるミトコンドリア障害を防ぐ | 292 |
| (4) アルコールと動脈硬化 (論文番号289 ~) | |
| 289. ヒト血管平滑筋細胞における紅茶、ワイン、ビール、ポリフェノールの ecto-アルカリ性ホスファターゼ活性に及ぼす急性効果 | 293 |
| 290. 左冠動脈前下行枝へのエタノール注入によるブタ心筋での脂肪酸エチルエステルの急速な合成 | 294 |

| | |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| 291. LDLr-/apoB100/100マウスにおけるビールの適量摂取が肝臓の トリグリセリドと大動脈のコレステロール沈着を減少させる | 295 |
| (5) アルコールと依存 (論文番号292 ~ 294) | |
| 292. α シヌクレイン遺伝子内のNACP-REP1 マーカーの解析はアルコール依存との関連を結論づける | 296 |
| 293. 過去の禁断経験は、禁断によって誘導されるc-fosの脳辺縁系での発現を増加するが、 禁断による不安は亢進せず、血漿コルチコステロンの増加を阻止する | 297 |
| 294. MTPI、新規脳浸透性経口コルチコトロピン放出因子受容体1拮抗薬の アルコール依存症動物モデルにおける有効性 | 298 |
| (6) アルコールと睡眠リズム (論文番号295 ~ 297) | |
| 295. 胎児期のエタノール曝露は視床下部の β -エンドルフィン神経の 概日周期機能を制御している時計遺伝子の発現を変える | 299 |
| 296. ラット妊娠後期における脳発達急成長期でのエタノール曝露後の概日周期位相シフト能力の変化 | 300 |
| 297. T型カルシウムチャネルの遺伝子日内発現パターンとそのエタノールによる制御 | 301 |
| (7) アルコールと発がん (論文番号298) | |
| 298. ヒト前立腺癌細胞でレスベラトールによって誘導される遺伝子の発現プロファイル | 302 |
| (8) アルコールと消化器・呼吸器 (論文番号299 ~ 301) | |
| 299. ラット胃でのアルコール飲料の刺激作用：エタノールとの比較研究 | 303 |
| 300. ウイスキーコンジェナーによるエタノール誘導性胃粘膜傷害の保護効果 | 304 |
| 301. ラットで胎生初期の慢性エタノール曝露は呼吸系活性を障害しエタノールへの感受性を亢進する | 305 |
| (9) アルコールと血液・皮膚・生殖機能 (論文番号302 ~ 306) | |
| 302. エタノール投与した異なる月齢のラットにおける緑茶による赤血球膜の保護効果 | 306 |
| 303. ラットでエタノールの単回経口投与が局所適用した化学物質の経皮吸収を変える | 307 |
| 304. ADH1B、ALDH2 遺伝子多型によって調節されるヒト末梢リンパ球におけるアルコールの遺伝毒性 | 308 |
| 305. 老齢マウスの表皮に及ぼす清酒濃縮物の影響とその活性成分としてのエチル α -D-グルコシドの確認 | 309 |
| 306. ミニプタでは慢性エタノール投与が精巢の葉酸代謝を混乱させ、食餌性葉酸欠乏 が性ホルモンレベルを減少させる | 310 |
| (10) アルコールの薬理作用 (論文番号307 ~ 313) | |
| 307. ドーパミンD3 受容体はエタノール消費を制御する恒常的経路の一部である | 311 |
| 308. ラット組織における急性 <i>in vivo</i> エタノール投与のヒストンH3の修飾への影響 | 312 |
| 309. 外傷性傷害後の加齢マウスでは低い血中エタノールレベルがサイトカイン産生の改善と関係がある | 313 |
| 310. ヒト心筋の細胞内pHと電導収縮パラメーターに与えるエタノールの効果 | 314 |
| 311. カルモジュリンキナーゼIIによるslo BKカリウムチャネルのスレオニン107の リン酸化はBKチャネルの活性とエタノール反応性を制御している | 315 |
| 312. エタノールによる急性期反応の誘導と抑制の説明 | 316 |
| 313. エタノールはアルコール拮抗薬であるRo 15-4513の $\alpha_4\beta_3\delta$ GABA _A 受容体への 結合を強力に且つ競合的に阻害する | 317 |
| (11) アルコールとその他の健康 (論文番号314 ~ 316) | |
| 314. ビール成分であるグリシンベタインが放射線誘導障害を保護する | 318 |
| 315. 飲酒と健康 | 319 |
| 316. レスベラトロールが高カロリー食条件下でマウスの健康と生存を改善する | 320 |